

前線に伴う降雨による防災情報(第3報)

新庄河川事務所では、7月6日14時10分に災害対策支部(注意体制・砂防)を設置し警戒にあたっておりましたが、寒河江川流域の日暮沢雨量観測所において、降り始めからの雨量が120mmを超えたため、7月6日17時10分災害対策本部(警戒体制・砂防)に移行しました。

今後、天候の状況を見て鮭川流域、角川流域、寒河江川流域、赤川流域の砂防施設の巡視・点検を実施する予定です。

1. 新庄河川事務所の体制

7月6日(水)14時10分 災害対策支部(注意体制・砂防)設置

7月6日(水)17時10分 災害対策本部(警戒体制・砂防)設置

※災害対策支部(砂防)設置基準

注意体制:連続雨量80mmに達し土砂災害のおそれがある場合

警戒体制:連続雨量120mmに達し土砂災害のおそれがある場合

時間雨量40mmに達し土砂災害のおそれがある場合

2. 雨量情報(「7月6日(水)17時00分現在)

[鮭川流域]	小又雨量観測所	連続雨量 110mm
[角川流域]	柴倉山雨量観測所	連続雨量 102mm
	平根雨量観測所	連続雨量 91mm
	明戸雨量観測所	連続雨量 101mm
[寒河江川流域]	日暮沢雨量観測所	連続雨量 122mm
[赤川流域]	大針雨量観測所	連続雨量 86mm
	皿淵雨量観測所	連続雨量 110mm
	蘇岡雨量観測所	連続雨量 92mm
	枅形雨量観測所	連続雨量 117mm

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所

山形県新庄市小田島町5-55

TEL:0233-22-0262 (調査課直通)

副所長(砂防) しぎはら よしたか 鳴原 吉隆 (内線205)

調査課長 くぼた としかず 窪田 敏一 (内線351)